

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R6年 1月 30日

事業所名: 児童発達支援事業所はげみ園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|---------|--|----------|-----------|-----|------------------------------|----------|-----------|-----|-------|---|--|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 7 | 0 | 0 | ・職員間で使用するスペースを共有している。 | 33 | 1 | 0 | 0 | ・十分確保されており、安心である。 ・のんびりと過ごせていて良いと思う。 ・楽しく過ごせているが、狭いと感じることがある。 | ・構造化を再考し、各々の部屋がより過ごしやすいように仕切りをした。 ・遊びに集中できるよう狭いスペースを活用する場合がある。また、のびのびと運動遊びができるよう広いスペースを活用する場合もある。今後も目的によって使い分けられるようにしていく。 |
| | 2 職員の適切な配置 | 5 | 1 | 1 | ・職員の急な休みの際のカバー体制が不十分な場合がある。 | 30 | 3 | 0 | 1 | ・言語療法も受けられたら良かった。 ・職員がどこにいるか分かりやすく視覚支援ができています。 ・職員が足りておらず、大変そうに思う時がある。 ・1人の職員が自閉症の方のことを「変な話し方」と言っていた。専門性は、職員によって偏りがあるように感じる。 | ・それぞれの発達段階で適当と思われる療育支援を提供できるよう努める。 ・職員の不足時にもお互いがカバーし合えるよう、子どもの状態や対応など日頃から情報共有を心がける。 ・研修等を通して、職員個々の研鑽、専門性の向上を図る。 |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備 | 7 | 0 | 0 | | 34 | 0 | 0 | 0 | ・遊びが固定しないよう工夫してくれている。 ・配置がわかりやすい。 | |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 6 | 1 | 0 | ・子ども達が活動しやすい環境を用意するよう心がけている。 | 34 | 0 | 0 | 0 | ・絵カードを用いた空間整備がされており、家庭での参考になる。 ・いつもきれいで、快適に過ごせている。 | |
| | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 6 | 1 | 0 | | | | | | | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 | |
|----------|---|----------|-----------|-----|---------------------------|----------|-----------|-----|-------|--|---|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| 業務改善 | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 1 | 4 | 2 | ・第三者評価を取り入れられていない。 | | | | | | ・第三者評価は行っていないが、事業所の自己評価と満足度調査を行い、保護者と職員からの意見をもとに改善に努めている。 |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 7 | 0 | 0 | ・研修後、職員間での情報共有も行っている。 | | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | 7 | 0 | 0 | ・計画の作成、変更時には職員全員で会議をしている。 | 31 | 1 | 0 | 0 | おあつまりへの参加が難しかった子が、座って話を聞けるようになっていてすごいと感じた。 | |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 5 | 2 | 0 | | 33 | 1 | 0 | 0 | ・個別ワークは毎回異なる課題で、職員がよく考えてくれていると感じる。 | |
| | 3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 7 | 0 | 0 | | | | | | | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 | | |
|------------------|----------|--|--|-----|-----------|---|------------------------------------|-----|-------|----------------------|-----------|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 | |
| 適切な支援の提供 (続き) | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 6 | 1 | 0 | | 31 | 2 | 0 | 1 | | |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | 3 | 4 | 0 | | / | / | / | / | | |
| | 6 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | 3 | 4 | 0 | | 28 | 3 | 1 | 2 | | |
| | 7 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 1 | 4 | 2 | ・平日のみの開所で、長期休暇中も平日と同じ対応をしている。 | / | / | / | / | | |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 4 | 3 | 0 | ・変更がある際にも職員間で確認合っている。 | / | / | / | / | | |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 5 | 2 | 0 | ・支援終了後の確認もしているが、全員で共有すべき事項は朝のミーティングで知らせている。 | / | / | / | / | | |
| | 10 | 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 6 | 1 | 0 | | / | / | / | / | | |
| | 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | 7 | 0 | 0 | | / | / | / | / | | |
| | 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画 | 6 | 1 | 0 | ・児童発達支援管理責任者が参画し、可能な際には担当者も参画している。 | / | / | / | / | |
| | | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | / | / | / | | / | / | / | / | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 | |
|--------------|--|----------|---------------|-----|---|----------|---------------|-----|-------|----------------------|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 |
| 関係機関との連携（続き） | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | / | / | / | | / | / | / | / | / | |
| | 4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 4 | 2 | 1 | ・サポートファイルによる情報共有と、園によっては担任が見学に来てくれるなどしている。 | / | / | / | / | / | |
| | 5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供 | 6 | 1 | 0 | ・サポートファイルによる情報共有と、事業所によっては担任が見学に来てくれるなどしている。 | / | / | / | / | / | |
| | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 6 | 1 | 0 | ・こども療育センターに巡回相談に来ていただいたり、市の発達支援センター主催の研修会などに参加し、助言を受けやすい状況にしている。 | / | / | / | / | / | |
| | 7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供 | 0 | 0 | 7 | | 8 | 1 | 11 | 13 | | |
| | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 0 | 3 | 4 | ・誕生日や季節に応じた制作、かざりつけを通常の療育の中で行っているため、地域の方に来ていただけるようなイベントを企画できていない。 | / | / | / | / | / | ・地域住民ではないが特定の団体とは行事を通して交流する機会があった。今後もこのような場を継続していく。 |
| 保護者への説明責任 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 7 | 0 | 0 | ・丁寧に説明するよう心がけている。 | 34 | 0 | 0 | 0 | ・わかりやすい説明があった。 | |
| | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 7 | 0 | 0 | ・丁寧に説明するよう心がけている。 | 33 | 0 | 0 | 0 | | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた 改善内容・改善目標 | | |
|--------------------|---|--|---------------|-----|-----------|--|---------------|-----|-------|----------------------|--|--|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | 保護者の方のご意見 | |
| 連携支援 | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 5 | 1 | 1 | ・利用時に具体的な対応について情報共有している。 | 21 | 3 | 3 | 7 | ・療育中、いつも相談に乗ってもらっている。 | |
| 保護者への説明責任・連携支援（続き） | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 6 | 1 | 0 | 利用時に共通理解を図るようにしている。 | 33 | 0 | 1 | 0 | ・定期的な面談、相談の時間がほしい。 ・支援学校の見学について紹介してもらい、とても助かった。 ・担当の先生がとても話しやすい。子どものことを真剣に考えてくれているのが伝わる。 | ・療育中、随時保護者の相談に対応している。可能であれば、療育とは別枠にて、面談やTELによる相談の時間も設けていく。 |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | 7 | 0 | 0 | ・利用時に生活上の困り事について話をしている。 | 31 | 0 | 1 | 2 | ・30分でも定期的な面談の時間がほしい。 ・助言をたくさんしてもらって、助かっている。 | ・療育中であれば、保護者の相談に対応する職員、子どもに対応する職員、と役割を分けて、保護者が相談しやすい状況になるよう配慮していく。 |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | 0 | 2 | 5 | ・会を開催することはできていないが、同時時間帯に利用している保護者同士が話せるように支援することはある。 | 3 | 4 | 12 | 14 | ・そのような連携支援をしてほしい。 ・保護者同士で関わる機会がない。 | ・分離が難しい月齢の子どもが増えてきており実施できていないが、同時時間帯に利用している保護者同士が交流しやすいよう配慮していく。 |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 7 | 0 | 0 | | 20 | 1 | 0 | 12 | | |
| | 8 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 7 | 0 | 0 | | 32 | 1 | 0 | 0 | | |
| 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 6 | 1 | 0 | | 26 | 1 | 0 | 6 | | | |

| 区分 | チェック項目 | 事業所の現状評価 | | | | 保護者の方の評価 | | | | 評価を踏まえた改善内容・改善目標 |
|-------------|---|----------|-----------|-----|---|----------|-----------|-----|-------|--|
| | | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫した点、改善点 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | |
| | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 6 | 1 | 0 | ・個人情報扱うファイルには目印となるシールを貼るなど管理に配慮している。 ・個々の職員によって、個人情報に対する認識の程度に開きがある。 | 30 | 0 | 0 | 3 | ・個人情報の取り扱いについて、その重要性やリスク等を職員間で共有するよう心がけている。 |
| 非常時等の対応 | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 4 | 2 | 1 | ・策定しているが、まだ周知できていない。 | 23 | 3 | 0 | 7 | ・感染症対策等については園だよりに記載し、注意を促している。また、パンフレットや資料も配布している。 ・マニュアルに関する掲示物があることを保護者に声かけするなどし、より周知できるよう心がける。 |
| | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 7 | 0 | 0 | | 17 | 1 | 0 | 15 | |
| 非常時等の対応（続き） | 3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応 | 6 | 0 | 1 | | | | | | |
| | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 7 | 0 | 0 | ・身体拘束に関する同意書で説明し、署名をいただいている。 | | | | | |
| | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 0 | 3 | 4 | おやつの際のみ対応しているが、医師の指示書はもらっていない。保護者から情報を得て、食べても大丈夫なものを、保護者の目の届くところで食べてもらっている。 | | | | | |
| | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 7 | 0 | 0 | | | | | | |